

総合計画は、まちづくりの指針です

●総合計画って何？

総合計画は、本町の最上位に位置づけられる計画であり、本町の目指すべき将来の姿を明らかにするとともに、その実現に資する政策等をまとめたもので、新たなまちづくりや行財政運営の指針となる重要な計画です。

東郷町では、平成13年に「第4次東郷町総合計画」を策定し、計画に基づいたまちづくりを進めてきました。

しかし、少子高齢化の急速な進行による人口構造の変化、地球的規模での環境問題、高度情報化社会の到来など社会経済情勢は大きな変革の時期を迎えています。

また、今後、地方自治体を支える制度の枠組みも大きく変化することが予想される中、地方分権により地方自治体が自己責任のもとで主体的なまちづくりを推進していくことが求められています。

このような状況を踏まえ、東郷町では、町民との対話と協働を基調とし、第5次東郷町総合計画を策定しました。

●総合計画の期間と構成

第5次東郷町総合計画の計画期間は、平成23年度からの10年間とし、基本構想及び基本計画で構成します。

基本構想

本町が目指すべき将来像を方向づけるとともに、行政が町民との協働のもとで実現を果たす「約束」として位置づけ、町民、町民活動団体、地区、事業者及び行政等の共通の指針として、町の理念、将来都市像及び施策の方向を定めます。

基本計画

将来都市像を実現するための施策を具体化し、各分野にわたって特に取り組むべき諸施策と具体的内容を町民、町民活動団体、地区、事業者及び行政等の担うべき役割を踏まえて総合的、体系的に明らかにするものです。